

昭和37年9月20日生、平成23年4月、福岡県議会議員初当選。添田町立添田小学校・添田中学校、福岡県立田川高等学校、日本大学商学部卒。



さとし こうざき 聡 夢からはじまる

<http://www.kouzakisatoshi.com>



県政報告

食と緑を守る緑友会福岡県議団

平成26年8月号

9月定例会で代表質問します！

9月25日(木) 午後から予定です。議会傍聴ができます。また、インターネット生中継も行われています。

<http://www.fukuoka-pref.stream.jfit.co.jp/>



スマートフォンでQRコードを読み取ると、録画中継を簡単にご覧いただくことが出来ます。

議員としての役割と使命感！
“定例会・本会議で連続13回質問続行中”
 農林水産常任委員会、副委員長
福岡県議会議員 神崎 聡

暑中お見舞い申し上げます。6月定例会県議会で、依然として厳しい田川地域の現状を打破し、田川地域の将来ビジョンをきちんと示すことが、地元選出議員の最重要課題の取り組みだという想いで、「園域を越えた交流の促進による田川地域の振興について」、小川洋知事に質しました。定例会開会後は、6月29日から7月8日の日程で、国連ハビタットの招へいを受け、ナイロビ本部を知事と一緒に訪問し、併せてアフリカ経済の中心地、南アフリカ共和国等を訪問しました。7月13日には、添田町長・町議会議員選挙が行われ、新たな町政体制も決まりました。来春の統一地方選挙を控え、県議会・委員会活動や各種議連活動も、前倒して7月・8月に集中して行事が組み込まれ、また地元行事も目白押しで、本当にあつという間に8月を迎えています。9月定例会県議会も17日から本会議が招集されます。今回は3回目となる代表質問に挑みます。

一期生でありながら、代表質問の機会を三度与えて頂き、議会を代表しての海外視察や知事との公式訪問等、貴重な経験を頂いた県議会と会派議員の皆さん、そして小川知事に感謝し、何よりも県政に送り出して頂いた田川の皆さん、心から感謝し、さらに頑張つて思返しができるように働いて参ります。今後とも、温かいご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブックページ



ツイッター



国連ハビタット・ナイロビ本部公式訪問 (ケニア・ザンビア・南アフリカ)



福岡県議会ケニア共和国等国際交流調査団

本年は、平成9年にハビタット福岡事務所が開設されてから17年目であり、2012年に締結された同事務所と福岡県等との第4期覚書(5年ごと更新)の有効期限の中間年であります。また、このたび、国連ハビタット本部から、これまでの支援を記念し、敬意を表するとともに、併せて今後のハビタットと福岡県の関係について意見交換を行いたいとして、招へいがありました。

今回の調査団の目的は次の2点でありました。

○ 国連ハビタット本部の招聘を受け入れ、今後の支援のあり方等について意見交換する。

○ 長年のハビタット福岡本部の活動に対する支援を通じて本県が国際社会に立地してきた貢献の成果と国際機関が福岡に立地しているという他の地域にないアドバンテージを最大限に生かす方策を検討すべき時期にきていることから、この機会に、そのための基礎的な調査を実施する。

① アフリカは、レアメタルをはじめ資源も豊富であり、アジアと並んで大きな経済的成長力・潜在力を持っていることから、本県及び九州の地場産業にとり、資源の安定的な確保のため、また、有望な輸出市場として、今後、重要な地域となることは確実である。

② また、特に南アフリカは、アフリカ経済の中心であるだけでなく、アフリカにおける自動車産業の拠点であり、世界の主要メーカーの工場が立地し、世界に向けた輸出拠点にもなっている。同じ自動車産業の世界的拠点である九州の部品メーカーにとっても、有望な輸出先となることが期待できる。

③ 現在、わが国は、アフリカ諸国と必ずしも十分な交流関係を築くことができないが、本県は、ハビタットとの長年の支援関係を活かすことで、この地域において、存在感をアピールできる可能性を有している。

④ そこで、今後、積極的に福岡・九州をプロモートしていくため、南部アフリカの政治・経済・社会・文化等の現状やアフリカの歴史、民族性に関する知見を得る必要がある。

⑤ プロモーションの有効な方策、機会のひとつとして2019年にわが国で開催されるラグビーワールドカップの活用が考えられる。本県もその会場に立候補することにも、その側面の促進措置として、南アフリカの強豪チーム・ナショナルチーム・ブルックスのキャンプ誘致を行うため、必要な条件等について情報収集を行う。

⑥ さらに、同国におけるトップアスリートの育成方法等について調査し、来るべきワールドカップやオリンピックに向けた青少年の指導の参考とする。JICAの活動や日本のODA等による支援実績が豊富で、日本との関係が良好なザンビア共和国を訪問し、支援の実績や現状について調査し、今後のアフリカとの関係構築の参考とする。

6月定例県議会 一般質問

「圏域を越えた交流の促進による田川地域の振興について」

- 一、田川地域の企業誘致
- 二、住民交流の促進と新たな観光振興策
- 三、広域的な地域水道ビジョン

【神崎議員】一、①京築地域のポテンシャルを活かした田川地域への企業誘致について②公的な遊休施設を活用した田川地域への企業誘致について

【小川知事】

①京築地域は、北九州空港や苅田港、東九州自動車道等の交通インフラに優れており、平成21年度からの5年間に10社の企業が立地し、このうち8社が自動車関連企業となっている。これまで、田川地域においては、自動車完成車メーカーとの近接性や福岡、北九州の都市圏との交通の利便性などの立地環境をPRして、企業誘致に取り組んできた。そのような中、今年3月には東九州自動車道行橋インターチェンジや国道201号バイパスが供用開始され、田川地域と京築地域との交通アクセスはさらに向上している。県としては、このようなことも念頭に置きながら、田川地域の市町村と一体となった企業訪問の実施や情報交換のための連絡会議の設置など、市町村と連携した企業誘致に取り組んでまいり。

②公的な遊休施設を活用することは、企業誘致を推進する上で、有効な手段の一つであると考え。県内では既に、学校再編により廃校となった高校の体育館等への食品工場の立地や、合併により庁舎内に生じた空きスペースへのソフトウェア開発会社の入居などの事例がある。県としては、市町村に対して、このような先進事例を紹介してまいり。

また、公有財産の有効活用や効果的な運営を図るファシリテイマネジメントの重要性の周知徹底を図るとともに、公共施設等に関する情報の積極的な公開についても助言してまい。さらに、そのようなことで得られた情報を基に、活用可能な公的な遊休施設の情報を一元的に管理し、コールセンター等の企業誘致に積極的に活用してまいり。

【神崎議員】二、③住民交流の促進について④新たな視点による広域的な観光振興について

【小川知事】

③「今川流域市町村連絡協議会」は、昨年8月に今川流域の添田町、赤村、みやこ町、行橋市が、今川の自然環境を守るため、行政と住民が一体となり地域づくりを推進することや、流域の交流連携を促進することを目的に設立した協議会である。この協議会は、本年4月に油木ダム桜ウオーキング大会を後援するなど、自然環境を活かした地域づくりのイベントに協力していると聞いている。本県では、河川環境の保全に関わるボランティア団体が活動報告を行う「ふくおか水もり自慢」を開催している。この取組みは、河川環境の保護にかかわる団体の交流を促進するため、平成16年から毎年開催しているものである。今後、県では、今川の環境保全などに取り組むボランティア団体に、こうした交流の場に参加してもらうよう促し、今川の流域内の情報交換と地域の交流が活発となるよう支援していく。

④観光客の増加を図るためには、御指摘のような「炭鉱」や「修験道」といった地域の歴史や文化などを掘り起こし、磨き上げ、人々の心に訴えかけるようなストーリーをつくっていくことが重要。

県では、これまで、田川地域をはじめ、各地域の市町村と協力しながら、観光資源や地域特産品の開発に取り組んできた。また、昨年度からは、世界文化遺産登録を目指す明治日本の産業革命遺産に加え、筑豊地域を中心とする炭鉱関連の歴史や文化などをテーマとして、ヒアリング調査や地域の関係者を集めたワークショップを行い、新たな地域資源を発掘し、各地域が連携して誘客につなげるための取組みを進めているところ。今後とも、こうした新たな観光テーマを検討し、テーマに応じて市町村や観光協会など関係者と一体となって、観光資源を掘り起こし、それらを磨き、つなぐことによって、圏域を越えた交流を促進し、誘客の拡大に取り組んでまいり。

【神崎議員】三、⑤住民への情報提供や「地域水道ビジョン」策定について

【小川知事】

⑤水道事業者は、事業の現状分析と評価、水需給の見通しや将来像を明らかにする「地域水道ビジョン」を策定する必要がある。田川・京築地域においては、域内の17の水道事業者のうち、4割にあたる7の水道事業者が「地域水道ビジョン」を策定済み。「地域水道ビジョン」を未策定の10の水道事業者に対して、研修会の開催などによる情報提供を行い、できるだけ早期の策定、公表を指導する。水道事業の将来に大きな影響を与える伊良原ダムが、平成29年度内の完成を目指して建設中であり、伊良原ダムの効果について、住民に知ってもらうことは重要である。県は、水道事業者に対し、伊良原ダムが今後の水道事業に与える効果について、積極的に住民に広報するよう指導していく。



県議会では、超党派で議員連盟を組織し、議会活動を充実させるため、勉強会など各種の活動を行っています。

議員連盟活動

福岡県文化議員連盟・副会長

福岡県文化議員連盟の日帰り視察で、長崎県・端島（はしま）軍艦島へ。閉山して40年が経ち、5年前より観光地として上陸できるようになり、累計で50万人を超える長崎の一大観光地となっている。また、軍艦島は福岡県の八幡製鉄所や三池炭鉱などとともに、世界文化遺産の国内候補となった「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産のひとつにもなっています。構成資産は、九州（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県）・山口県を中心に、静岡県や岩手県を含む8県11市に分散して立地していて、相互に密接な関連性があり、遺産群全体で一つの価値ある資産として、2009年1月、ユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。関係自治体で『九州・山口の近代化産業遺産群』世界遺産登録推進協議会を構成して、2015年の『世界文化遺産登録』を目標に取り組みを進めています。



福岡韓国商工会議所総会



第49回日韓馬術大会



県日韓友好議員連盟・副会長

県果樹振興議員連盟・事務局長



県内果樹生産地の活性化と果樹農家の発展を図るとともに、幅広い分野に関する調査研究を行うことにより、本県農業の振興に寄与することを目的に設立されました。



福岡県観光産業振興議員連盟

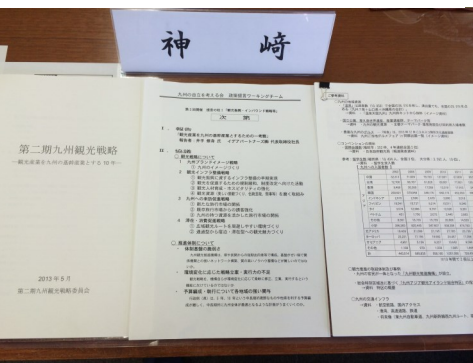
長崎街道筑前六宿の内野宿。長崎街道とは豊前国小倉の常盤橋（後に門司の大里からも）を起点に、肥前国の天領長崎に至る道筋、五街道に次ぐ脇街道であります。約57里（約223.8km）の道程で、25の宿場が置かれています。正式名称は長崎路であります。筑前六宿豊前街道福岡藩領では筑前六宿街道などの名称もあつたと言います。筑前六宿とは、福岡藩領の長崎街道ある宿駅で黒崎宿・木屋瀬宿・飯塚宿・内野宿・山家宿・原田宿。筑前六宿は黒田如水の嫡子、福岡藩初代藩主黒田長政の命により、黒田二十四騎の桐山丹波守（山家宿初代代官）や母里太兵衛らが工事を担当・指揮し、慶長16（1611）年に山家宿が開設、冷水峠の開削工事を開始し、慶長17年に冷水峠が開通、内野宿が開設されました。開通400年を迎えた歴史の道であります。

九州の自立を考える会
政策提言ワーキングチーム

九州の自立を考える政策提言ワーキングチームの委員に任命されました。座長には松本國寛元議長、副座長には岩本一儀副議長が就任し、各会派から政審会長が委員となっています。九州の自立を考える会は平成23年に発足し、戦後日本を支えてきた中央集権型の国家システム、全国一律の仕組みでは対応しきれないといった問題に対して、地方が自覚と責任を持って新しい時代を切り開いて、会派や政治的立場を超え、さらに行政と民間の垣根を乗り越えて、九州が一つにまとまり、新しい時代、新しい日本をつくるために設立されました。広域行政セミナーの開催や九州・沖縄の市町村議員の方々を対象に政策提言を募集など活発な活動を展開してきています。ワーキングチームでは5つ柱からなる政策提言を策定しています。

「観光振興・インバウンド戦略等」
「農林水産業の輸出戦略等について」
「先端中小企業の育成及びそれらを支える多様なエネルギー供給戦略等について」
「スポーツ振興・スポーツ産業の育成等について」

「インフラ整備（空港・港湾・公園等の都市施設等）について」
九州の自立を考える会の政策提言ワーキングチームに任命され、田川郡選出の県議としてではなく、もっと大きな使命と役割が自分の中で芽生えてくるような感じがしています。民間企業の経営を経験してきましたが、責任の度合いが格段に違います。中央集権から地域主導型の地方分権・道州制へと劇的に変わってくるのと、政治家特にトップリーダーに求められるのは、大胆なまでに迫力を備えた、今までと全く違った構想力です。地域・地方の時代は、別に東京に対抗する必要もなく、この九州が世界とどう関わっていくのかが大事なポイントであり、要するに、世界中から人・モノ・カネ・情報が集まり続ける循環を創り出すことができれば、夢のある将来が見えてきます。リスクを覚悟しながら、危機感を持って、チャレンジしチェンジしなければチャンスは生まれませんと思います。



九州の自立を考える会は、九州各県議会の議員や県内首長、経済界等を会員とする九州の成長戦略づくり等を考える組織です。



福岡県農政連定期総会



田川農業協同組合（JAたがわ）通常総代会



福岡県市町村年金者連盟総会 田川地区シルバー人材センター総会



嘉飯岳陽同窓会総会



福岡岳陽会総会



グランドゴルフ大会



田川県土整備事務所



福岡県飯塚農林事務所



緑友会福岡県議団勉強会・打ち合わせ

民間企業の方々と政策勉強会



少子・高齢化社会対策調査特別委員会視察



第65回福岡県植樹祭〜くつろぎの森グリーンピア八女



九州各県議会親善交流会



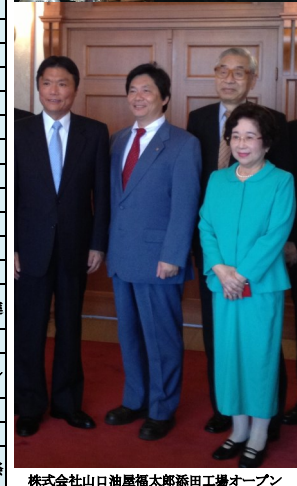
福岡県議会で主な所属
緑友会福岡県議団 副会長
農林水産常任委員会 副委員長
福岡県農政連 全体委員
福岡県農政連 全体委員
少子高齢化対策調査特別委員会 委員
九州・沖縄未来創造会議 委員
福岡県文化議員連盟 副会長
産地地域活性化対策福岡県議員連盟 幹事
オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟 理事
福岡県農林水産議員連盟 事務局長
田川直方バイパス延伸推進期成会 顧問

福岡県日韓友好議員連盟 副会長
福岡県日米友好議員連盟
福岡県日中友好議員連盟
福岡県国際交流推進議員連盟
福岡県タイ友好議員連盟
福岡県ベトナム友好議員連盟
福岡県日台友好議員連盟
福岡県森林・林業・林産品活性化促進議員連盟
福岡県防衛議員連盟
過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
福岡県観光産業議員連盟
福岡県スポーツ議員連盟
九州の自立を考える会 政策ワーキングチーム委員

こうざき聡事務所
〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417
TEL: 0947-41-3880 FAX: 0947-41-3881
こうざき聡 ホームページ www.kouzakisatoshi.com 検索

6月24日	火	九州自立政策提言WT
6月25日	水	県議会議員選挙
6月26日	水	福岡県国商工会議所
6月26日	木	飯塚農林事務所勉強会
6月28日	土	福岡岳陽同窓会総会
6月29-31日		国連ハビタット訪問
7月9日	水	農林水産常任委員会
7月9日	水	添田町長・町議選激励
7月12日	土	添田町長・町議選開票
7月13日	日	添田町長・町議選開票
7月14日	月	九州自立政策提言WT
7月16日	水	農政連小倉地区協議会
7月17日	木	県立川崎特別支援学校
7月18日	金	県議会議員選挙
7月19日	土	叙職祝賀会
7月20-21日		福岡市後援会
7月22日	火	九州自立政策提言WT
7月22日	火	九州沖縄防衛議員連盟
7月23日	水	県議会議員選挙
7月24日	木	八女香春線国道昇格期
7月25日	金	少子・高齢化委員会
7月26日	土	山口油屋福太郎工場
7月28日	月	九州自立政策提言WT
7月29-31日		農林水産委員会視察

6月1日	日	グランドゴルフ大会
6月2日	月	県議会議員選挙とびうめ会
6月4日	水	エネルギー政策調査活動
6月5日	木	一般質問調査活動
6月6-24日		6月定例会議
6月6日	金	県議会議員選挙役員会
6月6日	金	日韓友好議員連盟役員会
6月6日	金	嘉飯岳陽同窓会総会
6月7日	土	中学校運動会
6月7日	土	事務所開き
6月7日	土	福岡県トラック協会総会
6月10日	火	県市町村職員年金総会
6月12-13日		6月定例会代表質問
6月12日	木	県文化議員連盟役員会
6月12日	木	県議会議員選挙総会
6月13日	金	日韓交流講演・役員会
6月15日	土	ライオンズクラブ例会
6月16-18日		6月定例会一般質問
6月16日	月	県産炭地域活性化総会
6月16日	月	過疎地域活性化総会
6月17日	月	法光寺・開法会
6月17日	火	オイスカ議員連盟総会
6月19日	木	農林水産常任委員会
6月20日	金	九州自立政策提言WT
6月22日	日	事務所開き
6月23日	月	九州自立政策提言WT
6月23日	月	山本幸三政経セミナー
6月24日	火	田川農協通常総代会
6月24日	火	6月定例会閉会
6月1日	水	県議会議員選挙
6月2日	金	県議会議員選挙
6月8日	木	議員総会・政策審議会
6月9日	金	県議会議員選挙
6月9日	金	第49回日韓馬術大会
6月10-11日		添田町神幸祭
6月12日	月	福岡県農政連総会
6月12-13日		九州各県議会交流会
6月14日	水	田川県土整備事務所
6月14日	水	福岡県立大学交流会
6月15日	木	議員総会・政策審議会
6月16-17日		九州各県議会野球大会
6月19日	月	田川工業用水道調査
6月20日	火	柏木商店会
6月21日	水	福祉介護調査活動
6月22日	木	6月臨時県議会
6月23日	金	田川広域観光協会理事
6月24日	土	事務所開き式
6月25日	日	小学校運動会
6月26-27日		少子・高齢化視察
6月28日	水	九州自立政策提言WT
6月29日	木	筑豊横断道路建設促進
6月29日	木	田川地区防災協会総会
6月30日	金	田川地区シルバー人材セン
6月30日	金	県議会議員選挙総会
6月30日	金	議員総会・政策審議会
6月31日	土	第65回福岡県植樹祭



株式会社山口油屋福太郎添田工場オープン